

登録コード	SSG05615	開講年度	2026			
授業題目	特別研究（生物学ユニット）				担当教員	坂本 勇貴
英文授業名	Special Research (Biology Unit)				副担当	
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限・不定期		
講義室					備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】	
	2 4 SSカリ・理学					
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力				植物科学分野における最新の研究動向を把握し、それをプレゼンテーション等で非専門家にも理解させることができる。	
	2 6 SSカリ・理学、2 5 SSカリ・理学、2 4 SSカリ・理学					
	【DP4】創造性豊かな優れた研究・開発能力				最新の研究状況を元に未解決問題を発見し、新規研究課題を立案できる。研究課題に対して、適切な研究方針を策定し、方針に従って研究を遂行できる。得られた研究結果を適切にまとめ、他者に正確に伝えることができる。	
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力				専門分野の中で自身の研究の位置付けを把握し、研究の動機から研究結果・考察をまとめ、発表することができる。他者の研究結果と自身の研究結果を比較し、適切な議論を展開できる。	
	2 6 SSカリ・理学、2 5 SSカリ・理学					
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				植物科学分野における最新の研究動向を把握し、それをプレゼンテーション等で非専門家にも理解させることができる。	
(2)授業の概要	植物科学分野における未解決の問題を発見し、それに基づいた研究課題を立案し、研究方針を策定する。実際に研究を遂行し、得られたデータを元に考察し、論文作成するまでの一連の研究活動を実施する。毎週の研究室内のセミナーに参加しながら、研究活動の進捗状況を研究室内のメンバー間で議論し、研究の方向性に関する軌道修正を行う。また、研究を遂行する各段階において、関連分野の研究集会や学会での発表を行い、関連分野の専門家等からの意見等を参考にしながら、よりよい修士論文作成を目指す。					
(3)授業のキーワード	植物細胞生物学、植物生理学、植物科学					
(4)授業計画	1) 研究計画の立案（研究課題の設定・研究手法の計画立案） 2) 研究の遂行 3) セミナー活動を通して研究計画の軌道修正 4) 関連する研究会・学会での成果発表・研究計画の軌道修正 5) 修士論文の執筆・投稿論文の執筆					
(5)成績評価の方法	研究活動への参加状況、修士論文、および口頭発表・質疑応答の内容等により総合的に評価する					
(6)成績評価の基準	1) 植物科学分野における適切な研究課題の選定能力を有する 2) 自ら設定した研究課題に対して、適切な手法でその究明に取り組む能力を有する 3) 関連分野に関する幅広い知識を身につける 4) 関連分野における最先端の研究内容を理解できる能力を有する 5) 自身の研究成果をわかりやすく発表することができる 6) 自身の研究発表に関する専門家からの意見や質疑を理解し、適切な応答ができる 7) 自身の研究内容を修士論文としてまとめ上げることができる 8) 修士論文の内容をわかりやすく口頭発表することができる 以上のすべての項目を高いレベルで満たす場合には「S」評価とする おおよそ達成できたばあいには「A」評価 以下、達成の度合いに応じて段階的に評価をするが、7) 修士論文をまとめることができなかった場合、あるいは8) 修士論文の内容をわかりやすく口頭発表することができなかった場合には「不可」とする					
(7)事前事後学習の内容	研究活動を実施することから、自身で設定した研究課題に関連する分野の関連論文や関連書籍などを自身で調べるような普段の学習は必須である					
(8)履修上の注意	受講希望の段階で、指導教員としっかりとした打ち合わせが必要					
(9)質問、相談への対応	随時受け付ける					
【教科書】	指定しない					
【参考書】	指定しない					